

技術士取得は5年ほど前で、当時は気象情報を専門にした某財団に所属していました。その後一時期、某民間コンサルに転職し、河川・港湾系業務の傍ら、いまでは皆さんご存知のドローンの組み立てから操縦まで行っていましたが、最初の職場でお世話になった先輩技術者のいる現職に移りました。その間、河川流量調査、道路雪氷調査、環境アセスメント調査といったフィールド調査を主に行いつつ、太陽光発電に関する実証研究にも参加しまして、自分の専門分野を問われても答えにくいほど節操ない職歴です。今も水文調査が主な売上げの会社に関わらず、風力発電建設のための現地調査や道路雪氷調査といった亞流な分野を任せられています。こういった広い分野の業務のキーワードとしては、やはり最初の職場が得意としていた「気象」かと思います。特に建設コンサルは気象にはなにがしか関わらざるを得ないため、広い範囲の仕事に関わることができたものだと思います。今では、自分の仕事についてきかれたら、「お天気関係」と答えるようにしています。そうすると、ほとんどの方は天気予報をイメージするので、話の流れからこれからの天気予報について聞かれます。そんな時は「自分は予報でなく、調べるほうです」と答え、あらかじめ防御線をはっていますのでご留意ください(ほんとに天気の予測は難しい時が多いので…。)

一応、防災委員会の水工部会にも参加させていただいている。今後も広く浅くかもしれません、いろいろな分野の仕事に関わられたらと思っております。今後ともよろしくお願いします。

齋藤 正美 (さいとう まさみ)

●建設部門(建設環境)

勤務先

株式会社
北海道気象技術センター



→次号は、安藤真一さん(建設部門)